

第3地域ロータリー財団チームニュース

はじめに

第3地域ロータリー財団チームは、地域ロータリー財団コーディネーター(RRFC)、と3名の地域ロータリー財団コーディネーター補佐、恒久基金・大口寄付アドバイザー、ポリオ根絶コーディネーターを中心に、2640地区から2740地区までの11地区の財団活動がスムーズに行われるようにサポートする、ロータリー財団活動サポートチームです。これから、2ヶ月に一度、地区ガバナー・ガバナーエレクト・ロータリー財団委員長にお送りいたします。随時、回覧をお願いできれば幸甚に存じます。



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021年7月1日よりWFからの配分が変わります。特に、今年度新たにGGを利用される場合はご注意ください。

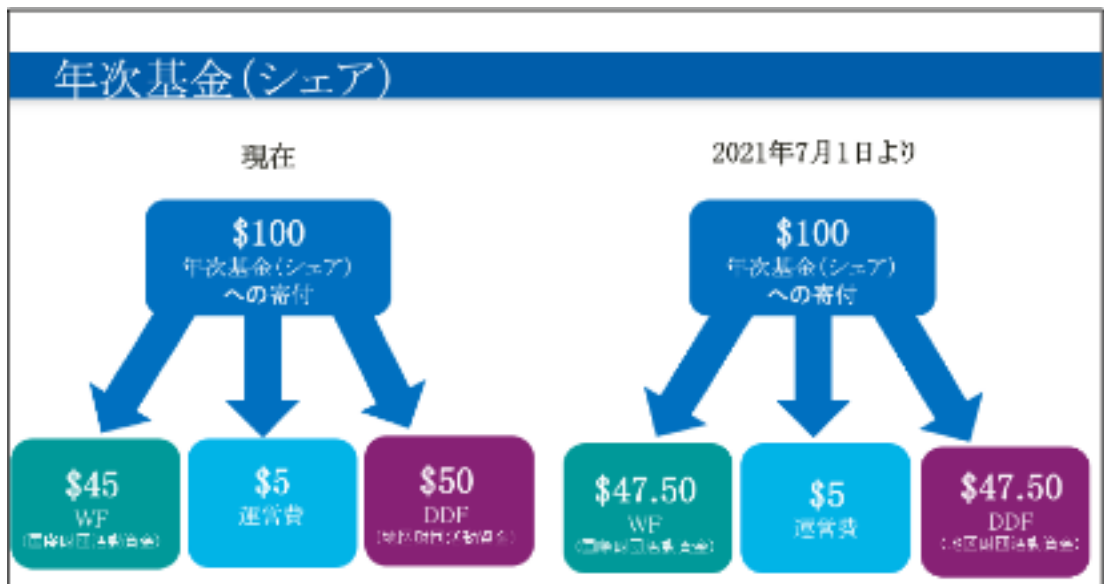
財団室 NEWS より(WFからの配分が変わります)

【資金モデルの変更】

ロータリー財団は、グローバル補助金における需要と供給のバランスを図ることを目的に、方針上の変更を承認しました。この変更は、2021年7月1日から有効となります。

1. ポリオプラスへの地区財団活動資金(DDF)の寄贈に対しては、国際財団活動資金(WF)から、100%ではなく、50%が上乘せされる。
ビル&ミンダ・ゲイツ財団からは今後も、2倍額が上乘せされます(上乘せの対象となるロータリーからの金額は毎年5000万ドルまで)。

- グローバル補助金のための DDF に対する WF からの上乗せが、80%に引き下げられる。
WF が枯渇しない限り、2021 年 5 月 31 日まで(奨学金に限り 6 月 30 日まで)*に提出され、6 月 30 日までに承認された申請書に対しては、引き続き DDF に 100%が上乗せされます。今年度に承認されなかった申請書は、調達資金に調整を加えた上で再提出する必要があります。
*6 月 30 日までに提出され、承認されたグローバル補助金・奨学金の申請書については、これまで通り WF から 100%の上乗せを受けられます。
- 年次基金(シェア)寄付の 5%が運営費として WF と DDF から均等に差し引かれる。現在は、年次基金(シェア)への寄付は、50%が DDF、45%が WF、5%が運営費となっています。2021 年 7 月 1 日より、47.5%が DDF と WF、5%が運営費となります。



【重点分野のロゴ】

ロータリーの重点分野のロゴ情報がブランドリソースセンターから入手できるようになりました。新たに加わった環境のほか、これまでの重点分野のロゴにも変更が加えられています。



冠名基金の手続きが変更になりました。以下をご参照ください。

【恒久基金と冠名基金】

恒久基金への寄付は、元本は使われることなく使用可能な投資収益のみが活動資金に役立てられる。増え続ける奉仕活動を末長く可能にすべく、その活動資金を恒久的に確保し財政を安定させる。

ロータリー財団の恒久基金は 1982 年に設置されました。恒久基金に 1,000 米ドルを寄付されると「ベネファクター」として表彰されます。また冠名基金も有意義なものです。

冠名基金は「恒久基金」の一つです。

冠名基金は…

15

- 恒久基金へのご寄付 **25,000ドル以上**で、好きな名前をつけた基金を設立することができます。
※事前に冠名基金設立同意書の締結が必要です。
- 冠名基金は、**個別で管理**されます。
- 基金に**寄付を追加**することもできます。
- 金額によって、選べる**条件**が異なります。

15

冠名基金設立のメリット

16

- 自身が特に支援したいプログラムへの**永続的な支援**となる
- 地域**社会への貢献**となる
- 基金名を**自由に設定**することができる
- **記念**となる

16

* ご不明なことがあれば、地域ロータリー財団チームにご連絡ください。

日本のロータリー財団の 2021～2022 年度目標です。各地区のクラブにご周知いただき目標達成にご協力をお願いいたします。

2021～2022 年度 日本のロータリー財団目標

- * 年次基金 1人当たり 150ドル(日本全体 1,350 万ドル)
年次基金寄付ゼロクラブゼロ達成を継続する。
Every Rotarian Every Year(年次基金への寄付)の推進
ポール・ハリス・ソサエティの推進
- * ポリオプラス基金 1人当たり 30ドル(日本全体 270 万ドル又、1,500ドル以上のクラブに財団感謝状贈呈)
- * 恒久基金 冠名基金を各地区一件以上
- * 大口寄付 寄付の種類にかかわらず、1 万ドル以上の寄付を日本全体で 100 件
AKS を日本全体で 10 名増やす。
中期目標として、2～3 年で「AKS 0 名地区」ゼロを目指す。

- * DDF の活用
 - ・DDF の 20%をポリオプラスへ寄贈
(DDF の 20%をポリオプラス基金へ寄贈した地区と、1500ドル以上の寄付をしたクラブには、ロータリー財団から感謝状が贈られます。)
 - ・ロータリー平和センター、重点分野への寄贈。
(日本ロータリー平和センター基金(E11695)の累計が、150 万ドルに達すると毎年この基金からロータリー平和フェロー1 名を支援できます。)
 - ・各地区が DDF を使い切る。
- * 補助金活動 グローバル補助金・地区補助金の活用の促進
ロータリー平和フェローシップの推進

ロータリー財団地域コーディネーター、ロータリー財団地域コーディネーター補佐の役割

- * 年次基金への寄付の重要性について地区リーダーを通じて、クラブに伝える。
- * ポリオ根絶コーディネーター(EPNC)と協力して、クラブへポリオ寄付を推進する。
- * 地区リーダーと協力して年次基金への寄付を推進する。
- * 地区リーダーと協力して、グローバル補助金・地区補助金への参加を促す。
- * ポリオ根絶・ロータリー平和センター・重点分野などの財団活動の周知を図る。
- * 地区の財団活動への支援を行う。
- * E/MGA と協力して、恒久基金・大口寄付の推進を図る。

最後に地域ロータリー財団チームをご紹介します。

第3地域 RRFC 永田壮一(2720 地区・熊本城東 RC)



第3地域ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)を拝命いたしました、永田壮一と申します。これから、3年間各地区における財団活動がスムーズに滞りなくできますように、微力ながら努めてまいります。加えて佐藤 E/MGA(RI 理事エレクト)と一緒にファンド・レイジングにも力を入れて参ります。皆様の地区においてロータリー財団についてご不明なことがあれば、3名の ARRFC、また私までご一報いただきますようお願いいたします。

1994年 熊本城東 RC 入会
2017～2018 2720 地区ガバナー
2018～2021 ARRFC
2021～ 第3地域 RRFC

第3地域 ARRFC 四宮孝郎(2660 地区・大阪西南 RC)



2021-22 年度 国際ロータリー第 2640 地区(大阪南部・和歌山)・第 2650 地区(福井・京都・奈良・滋賀)・第 2660 地区(大阪北部)を担当させていただきます、四宮孝郎でございます。以下簡単に自己紹介致します。

生年月日 1954 年 12 月 9 日
1993 年 4 月 第 2660 地区大阪西南ロータリークラブ入会
・職業分類 不動産業
・2012-17 年度 地区財団委員会に所属
・2019-20 年度 地区ガバナーに就任
・趣味 ゴルフ・囲碁・能楽

私の財団委員会に関する知識・経験はまだまだ浅いものですが、皆様の地区・クラブの諸活動に少しでも役立ちますよう努めて参りますので、宜しくお願い申し上げます。

第3地域 ARRFC 駒井英基(2740地区・佐賀南 RC)



2021年7月1日より第3地域財団コーディネーター補佐を拝命いたしました駒井英基と申します。2017-18年度に永田RRFCと同期で第2740地区(佐賀県長崎県)ガバナーを、務めさせていただきましたご縁で協力依頼されたものと解釈しております。第3地域には関西地区、中国四国地区、九州地区合わせて11地区がございます。それぞれの地区はロータリー活動に熱心で、熱気が伝わってくるようです。また、財団活動もそれぞれの地区ともに様々な活動をされています。今後もさらに幅広く財団活動にご理解いただけますように微力ながら永田RRFC様を支えて努力していく所存です。よろしくお願いいたします。

第3地域 ARRFC 吉原久司(2710地区・尾道 RC)



私は今年度第3地域ロータリー財団コーディネーター補佐を拝命した吉原久司と申します。国際ロータリー第2710地区(山口県、広島県)の尾道ロータリークラブに2004年に入会しました。2018~2019年度にガバナーを拝命しました。職業分類は外科医で趣味は英国車を中心とするヒストリックカードライブです。しかし一時は6台もあった旧車も現在、形が残っているのはモーガン+4とベントレーアズールのみで後はバラバラになっています。特技?はワインを中心とした飲酒でしてコロナ禍の前まではよく飲んでいました。何分ARRFCに就任したばかりですが一生懸命勉強しますので一緒に取り組んでいきましょう。

* 次回のニュースには、E/MGA 佐藤芳郎 RI 理事エレクト、前田直俊 EPNC のご紹介をいたします。